

平成16年度国民医療費の概況

目次

国民医療費の範囲と推計方法の概要

1 国民医療費の範囲	1 頁
2 推計方法の概要	2
3 用語の説明	2
4 利用上の注意	2

結果の概要

1 国民医療費の状況	3
2 制度区分別国民医療費	4
3 財源別国民医療費	4
4 診療種別国民医療費	5
5 年齢階級別国民医療費	6
6 傷病分類別一般診療医療費	7

統計表

第1表 国民医療費、国民一人当たり医療費及び対国民所得割合の年次推移	8
第2表 制度区分別国民医療費及び構成割合の年次推移	9
第3表 財源別国民医療費及び構成割合の年次推移	10
第4表 診療種別国民医療費及び構成割合の年次推移	11
第5表 年齢階級、一般診療-歯科診療別国民医療費、構成割合及び国民一人当たり医療費	12
第6表 傷病分類、入院-入院外、年齢階級別一般診療医療費	13

参考

平成16年度国民医療費の年齢階級別国民一人当たり医療費算出に用いた人口	15
-------------------------------------	----

国民医療費の範囲と推計方法の概要

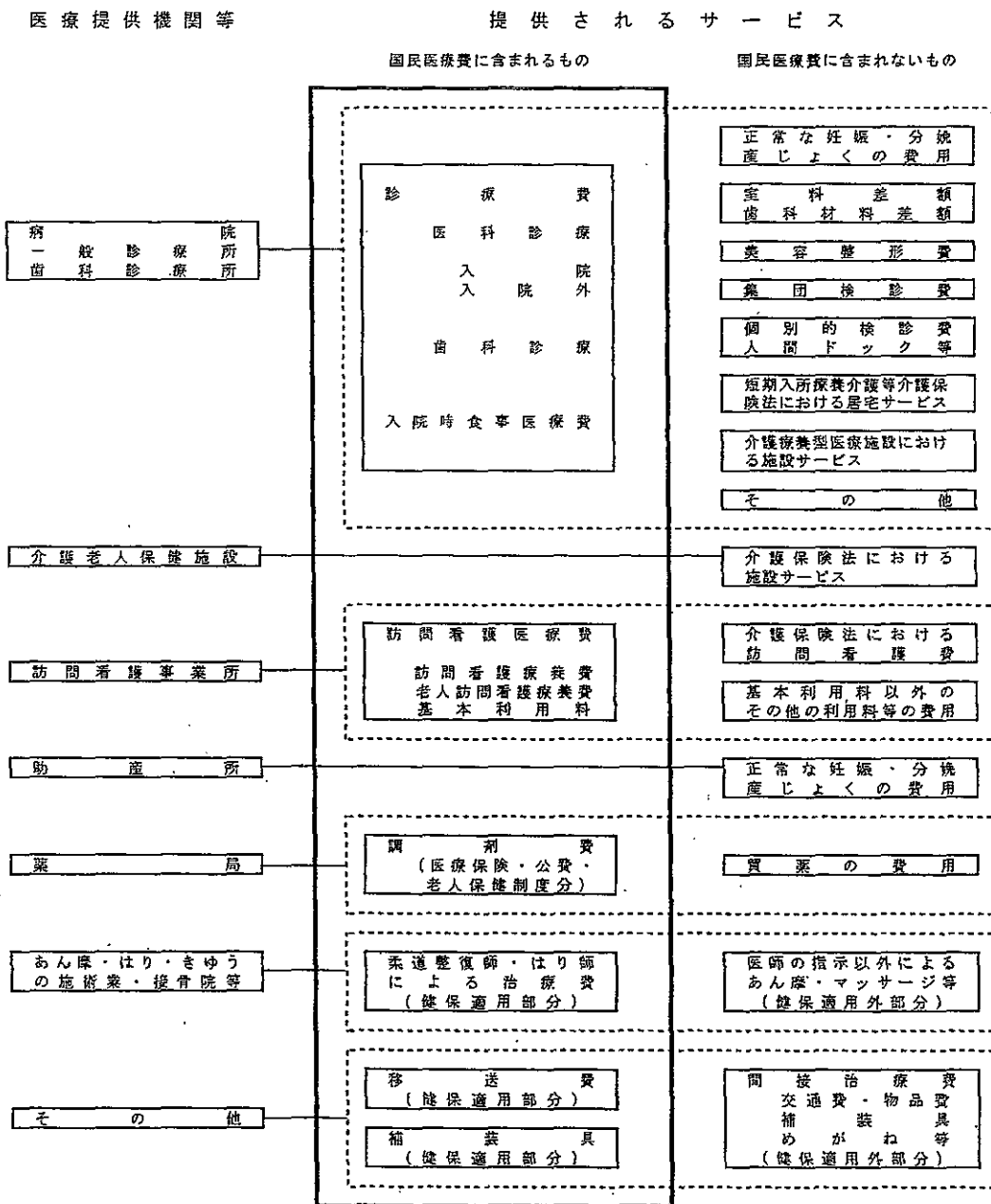
1 国民医療費の範囲

「国民医療費」は、当該年度内の医療機関等における傷病の治療に要する費用を推計したものである。この額には診療費、調剤費、入院時食事療養費、訪問看護療養費のほかに、健康保険等で支給される移送費等を含んでいる。

国民医療費の範囲を傷病の治療費に限っているため、(1) 正常な妊娠や分娩等に要する費用、(2) 健康の維持・増進を目的とした健康診断・予防接種等に要する費用、(3) 固定した身体障害のために必要とする義眼や義肢等の費用は含んでいない。

また、患者が負担する入院時室料差額分、歯科差額分等の費用は計上していない。

国民医療費の範囲



2 推計方法の概要

国民医療費は、公費負担制度によって国又は地方公共団体の負担する「公費負担医療給付分」、医療保険制度、労災保険制度等の給付としての「医療保険等給付分」、老人保健法による医療としての「老人保健給付分」について、原則として当該年度内の診療についての支払確定額（高額療養費(高額医療費)を含む。)を用い、医療費の給付に伴う患者の一部負担額と医療費の全額を患者が支払う全額自費について推計し、算出したものである。

また、財源別は上記推計結果を各制度において負担すべき者に振り当て、診療種類別のうち病院一般診療所別、年齢階級別及び傷病分類別は、上記推計結果を各種調査による割合を用いて按分し推計した。

3 用語の説明

(1) 財源別国民医療費

公費	公費負担医療制度、医療保険制度、老人保健制度等への国庫負担金及び地方公共団体の負担金
保険料	医療保険制度、老人保健制度、労災保険制度等の給付費のうち、事業主と被保険者や国民健康保険の被保険者が保険料(税)として負担すべき額
その他	患者負担及び原因者負担(公害健康被害の補償等に関する法律による補償給付及び医薬品副作用被害救済制度による救済給付)

(2) 診療種類別国民医療費

一般診療医療費	医科診療にかかる診療費、健康保険等給付対象となる柔道整復師・はり師等による治療費、移送費、補装具等
歯科診療医療費	歯科診療にかかる診療費
薬局調剤医療費	医師の発行する処方箋により保険薬局を通じて支給される薬剤等の額(調剤基本料等技術料と薬剤料の合計)
入院時食事医療費	入院時食事療養費及び標準負担額の合計額
訪問看護医療費	訪問看護療養費、老人訪問看護療養費及びそれぞれの基本利用料の合計額

4 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
推計数が表章単位の1/2未満、又は比率が微小の場合	0, 0.0
減少数(率)の場合	△

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合もある。

結果の概要

1 国民医療費の状況

平成16年度の国民医療費は32兆1111億円、前年度の31兆5375億円に比べ5737億円、1.8%の増加となっている。

国民一人当たりの医療費は25万1500円、前年度の24万7100円に比べ1.8%増加している。

国民医療費の国民所得に対する割合は8.89%（前年度 8.80%）となっている。

（図1、表1）

図1 国民医療費と対国民所得比の年次推移

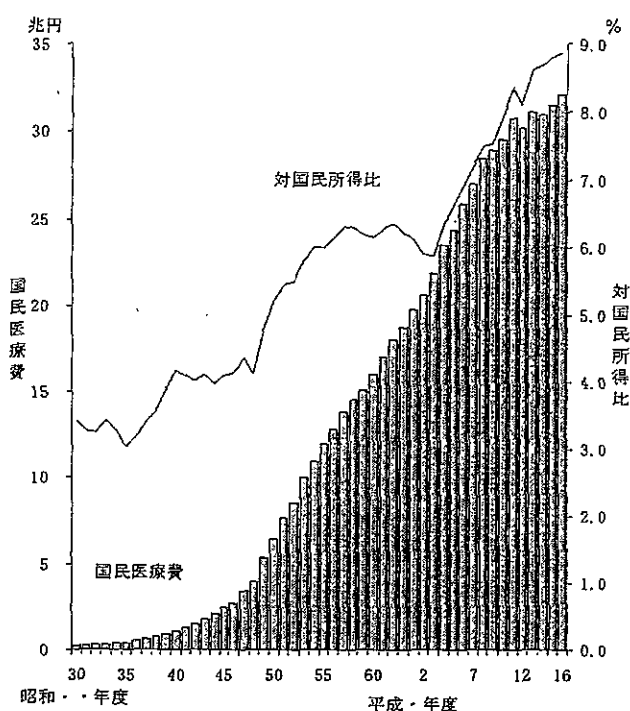


表1 国民医療費と国民所得の年次推移

年次	国民医療費		国民一人当たり		国民所得		国民医療費の 国民所得に対 する割合(%)
	(億円)	対前年度 増減率(%)	医療費 (千円)	対前年度 増減率(%)	(億円)	対前年度 増減率(%)	
昭和29年度	2 152	...	2.4
30	2 388	11.0	2.7	12.5	69 733	...	3.42
40	11 224	19.5	11.4	17.5	268 270	11.5	4.18
50	64 779	20.4	57.9	19.1	1 239 907	10.2	5.22
60	160 159	6.1	132.3	5.4	2 610 890	7.4	6.13
61	170 690	6.6	140.3	6.0	2 680 934	2.7	6.37
62	180 759	5.9	147.8	5.3	2 818 190	5.1	6.41
63	187 554	3.8	152.8	3.4	3 039 679	7.9	6.17
平成元年度	197 290	5.2	160.1	4.8	3 222 073	6.0	6.12
2	206 074	4.5	166.7	4.1	3 483 454	8.1	5.92
3	218 260	5.9	176.0	5.6	3 710 808	6.5	5.88
4	234 784	7.6	188.7	7.2	3 693 236	△ 0.5	6.36
5	243 631	3.8	195.3	3.5	3 690 327	△ 0.1	6.60
6	257 908	5.9	206.3	5.6	3 740 795	1.4	6.89
7	269 577	4.5	214.7	4.1	3 742 775	0.1	7.20
8	284 542	5.6	226.1	5.3	3 791 076	1.3	7.51
9	289 149	1.6	229.2	1.4	3 827 635	1.0	7.55
10	295 823	2.3	233.9	2.1	3 725 035	△ 2.7	7.94
11	307 019	3.8	242.3	3.6	3 667 396	△ 1.5	8.37
12	301 418	△ 1.8	237.5	△ 2.0	3 715 975	1.3	8.11
13	310 998	3.2	244.3	2.9	3 609 521	△ 2.9	8.62
14	309 507	△ 0.5	242.9	△ 0.6	3 557 846	△ 1.4	8.70
15	315 375	1.9	247.1	1.8	3 583 968	0.7	8.80
16	321 111	1.8	251.5	1.8	3 610 126	0.7	8.89

注:1) 平成12年4月から介護保険制度が施行されたことに伴い、従来国民医療費の対象となっていた費用のうち介護保険の費用に移行したものがあがるが、これらは平成12年度以降、国民医療費に含まれていない。
 2) 国民所得は、内閣府発表の国民経済計算（平成18年5月発表）による。
 3) 国民一人当たり医療費を算出するために用いた人口は、総務省統計局による国勢調査及び推計人口の総人口である。

2 制度区分別国民医療費

制度区分別にみると、医療保険等給付分は14兆7514億円（構成割合45.9%）、老人保健給付分は10兆5730億円（32.9%）、公費負担医療給付分は1兆8698億円（5.8%）となっている。また、患者負担分は4兆9169億円（15.3%）となっている。

対前年度増減率をみると、被用者保険分は1.9%の増加、国民健康保険分は7.7%の増加、患者負担分は0.6%の減少となっている。（表2）

表2 制度区分別国民医療費

制度区分	平成16年度		平成15年度		対前年度	
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	推計額 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	増減率 (%)
国民医療費	321 111	100.0	315 375	100.0	5 737	1.8
公費負担医療給付分	18 698	5.8	18 206	5.8	493	2.7
医療保険等給付分	147 514	45.9	141 032	44.7	6 483	4.6
医療保険	144 673	45.1	138 171	43.8	6 503	4.7
被用者保険	72 779	22.7	71 436	22.7	1 343	1.9
被保険者	36 755	11.4	36 368	11.5	387	1.1
被扶養者	34 301	10.7	34 131	10.8	170	0.5
高齢者	1 723	0.5	938	0.3	785	83.7
国民健康保険	71 894	22.4	66 734	21.2	5 160	7.7
高齢者以外	62 783	19.6	62 286	19.7	496	0.8
高齢者	9 112	2.8	4 448	1.4	4 664	104.9
その他	2 841	0.9	2 861	0.9	△ 20	△ 0.7
老人保健給付分	105 730	32.9	106 686	33.8	△ 956	△ 0.9
患者負担分	49 169	15.3	49 451	15.7	△ 282	△ 0.6

3 財源別国民医療費

財源別にみると、国民医療費32兆1111億円のうち、公費分は11兆1743億円（34.8%）、保険料分は15兆9978億円（49.8%）となっている（表3）。

表3 財源別国民医療費

財源	平成16年度		平成15年度		対前年度	
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	推計額 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	増減率 (%)
国民医療費	321 111	100.0	315 375	100.0	5 737	1.8
公費	111 743	34.8	107 468	34.1	4 274	4.0
国庫	83 619	26.0	80 639	25.6	2 980	3.7
地方	28 124	8.8	26 830	8.5	1 294	4.8
保険料	159 978	49.8	158 225	50.2	1 754	1.1
事業主	65 989	20.6	65 999	20.9	△ 10	△ 0.0
被保険者	93 989	29.3	92 226	29.2	1 763	1.9
その他	49 390	15.4	49 682	15.8	△ 291	△ 0.6
患者負担(再掲)	49 169	15.3	49 451	15.7	△ 282	△ 0.6

4 診療種類別国民医療費

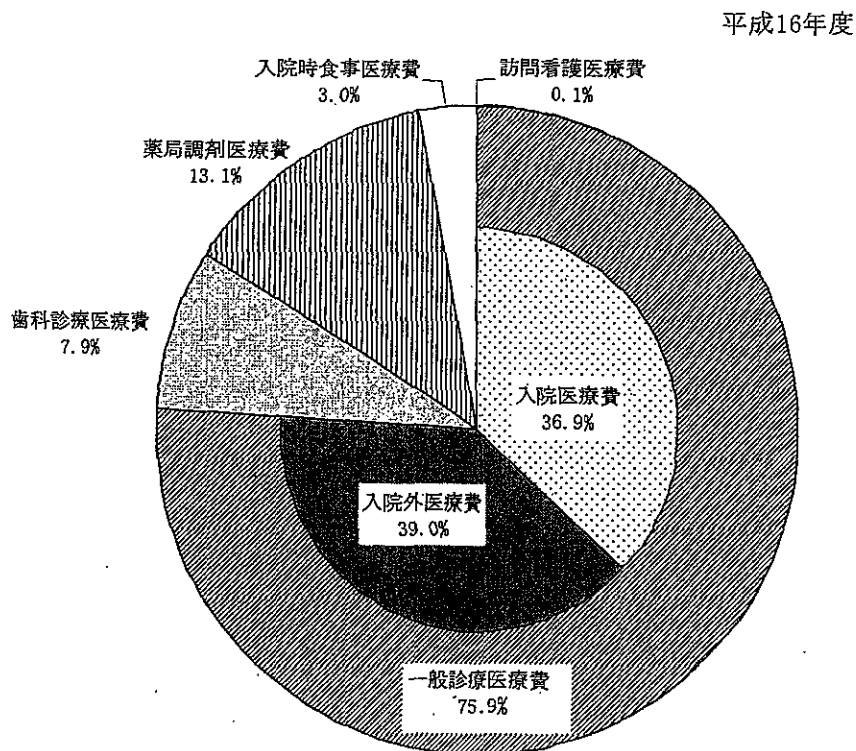
診療種類別にみると、一般診療医療費は 24兆3627億円（75.9%）、そのうち入院医療費は11兆8464億円（36.9%）、入院外医療費は12兆5163億円（39.0%）となっている。また、歯科診療医療費は2兆5377億円（7.9%）、薬局調剤医療費は4兆1935億円（13.1%）、入院時食事医療費は9780億円（3.0%）となっている。

対前年度増減率をみると、一般診療医療費は 1.1%の増加、薬局調剤医療費は 7.8%の増加となっている。（表4、図2）

表4 診療種類別国民医療費

診療種類	平成16年度		平成15年度		対前年度	
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	推計額 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	増減率 (%)
国民医療費	321 111	100.0	315 375	100.0	5 737	1.8
一般診療医療費	243 627	75.9	240 931	76.4	2 696	1.1
入院医療費	118 464	36.9	117 231	37.2	1 233	1.1
病院	114 047	35.5	112 942	35.8	1 105	1.0
一般診療所	4 417	1.4	4 289	1.4	128	3.0
入院外医療費	125 163	39.0	123 700	39.2	1 464	1.2
病院	50 717	15.8	51 135	16.2	△ 417	△ 0.8
一般診療所	74 446	23.2	72 565	23.0	1 881	2.6
歯科診療医療費	25 377	7.9	25 375	8.0	2	0.0
薬局調剤医療費	41 935	13.1	38 907	12.3	3 028	7.8
入院時食事医療費	9 780	3.0	9 815	3.1	△ 34	△ 0.4
訪問看護医療費	392	0.1	348	0.1	44	12.7

図2 診療種類別国民医療費構成割合 (%)



5 年齢階級別国民医療費

年齢階級別にみると、0～14歳は 2兆224億円（6.3%）、15～44歳は 4兆8842億円（15.2%）、45～64歳は 8兆7948億円（27.4%）、65歳以上は 16兆4097億円（51.1%）となっている。

国民一人当たりの医療費をみると、65歳未満は15万2700円、65歳以上は65万9600円となっている。一般診療医療費の国民一人当たり医療費をみると65歳未満は11万1200円、65歳以上は51万9800円となっている。歯科診療医療費の国民一人当たり医療費をみると、65歳未満では1万7600円、65歳以上では2万9500円となっている。薬局調剤医療費の国民一人当たり医療費をみると、65歳未満では2万400円、65歳以上では8万4300円となっている。（表5）

表5 年齢階級別国民医療費

年齢階級	平成16年度			平成15年度		
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	国民一人当たり 医療費(千円)	推計額 (億円)	構成割合 (%)	国民一人当たり 医療費(千円)
国 民 医 療 費						
総 数	321 111	100.0	251.5	315 375	100.0	247.1
65歳未満	157 014	48.9	152.7	156 551	49.6	151.5
0～14歳	20 224	6.3	114.0	20 316	6.4	113.5
15～44歳	48 842	15.2	98.4	48 602	15.4	97.2
45～64歳	87 948	27.4	248.1	87 633	27.8	247.4
65歳以上	164 097	51.1	659.6	158 823	50.4	653.3
70歳以上(再掲)	130 414	40.6	743.8	124 158	39.4	734.4
75歳以上(再掲)	90 214	28.1	815.1	85 371	27.1	809.4
一 般 診 療 医 療 費 (再掲)						
総 数	243 627	100.0	190.8	240 931	100.0	188.8
65歳未満	114 329	46.9	111.2	115 124	47.8	111.4
0～14歳	14 716	6.0	83.0	15 270	6.3	85.3
15～44歳	34 401	14.1	69.3	34 652	14.4	69.3
45～64歳	65 212	26.8	184.0	65 201	27.1	184.1
65歳以上	129 298	53.1	519.8	125 807	52.2	517.5
70歳以上(再掲)	104 251	42.8	594.6	99 396	41.3	587.9
75歳以上(再掲)	73 179	30.0	661.2	69 044	28.7	654.6
歯 科 診 療 医 療 費 (再掲)						
総 数	25 377	100.0	19.9	25 375	100.0	19.9
65歳未満	18 045	71.1	17.6	18 526	73.0	17.9
0～14歳	1 865	7.3	10.5	1 912	7.5	10.7
15～44歳	7 522	29.6	15.2	7 623	30.0	15.2
45～64歳	8 659	34.1	24.4	8 991	35.4	25.4
65歳以上	7 331	28.9	29.5	6 849	27.0	28.2
70歳以上(再掲)	4 987	19.7	28.4	4 520	17.8	26.7
75歳以上(再掲)	2 786	11.0	25.2	2 548	10.0	24.2
薬 局 調 剤 医 療 費 (再掲)						
総 数	41 935	100.0	32.8	38 907	100.0	30.5
65歳未満	20 964	50.0	20.4	19 007	48.9	18.4
0～14歳	3 473	8.3	19.6	2 913	7.5	16.3
15～44歳	5 904	14.1	11.9	5 283	13.6	10.6
45～64歳	11 587	27.6	32.7	10 812	27.8	30.5
65歳以上	20 971	50.0	84.3	19 899	51.1	81.8
70歳以上(再掲)	15 679	37.4	89.4	15 073	38.7	89.2
75歳以上(再掲)	10 044	24.0	90.7	9 817	25.2	93.1

6 傷病分類別一般診療医療費

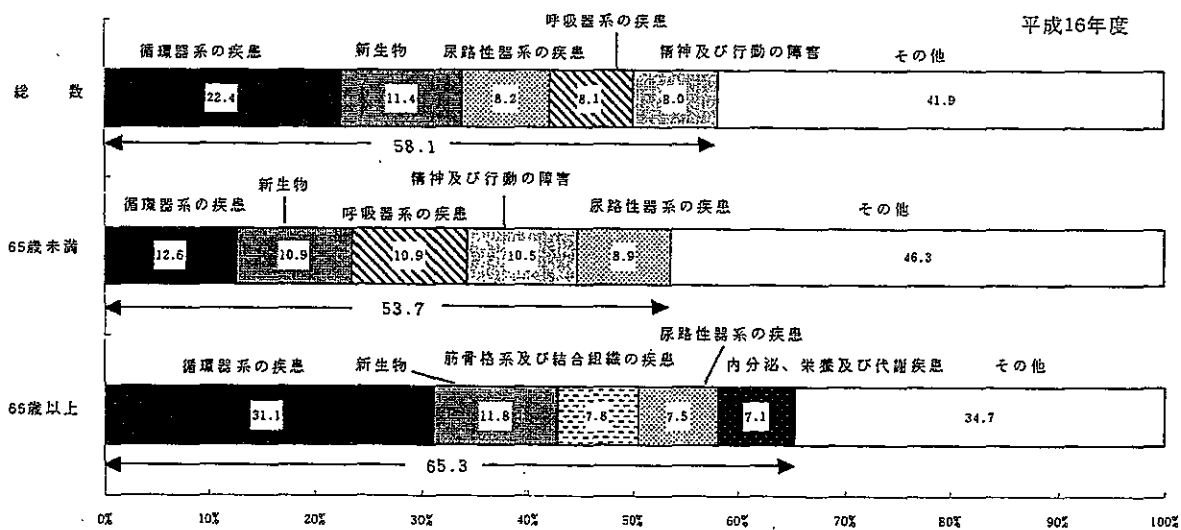
一般診療医療費を主傷病による傷病分類別にみると、「循環器系の疾患」5兆4603億円(22.4%)が最も多く、次いで「新生物」2兆7676億円(11.4%)、「尿路性感器系の疾患」1兆9956億円(8.2%)、「呼吸器系の疾患」1兆9801億円(8.1%)、「精神及び行動の障害」1兆9506億円(8.0%)となっている(表6)。

65歳未満と65歳以上のそれぞれ上位5傷病の構成割合をみると、65歳未満では「循環器系の疾患」、「新生物」、「呼吸器系の疾患」の3傷病で34.4%であるのに対し、65歳以上では「循環器系の疾患」が31.1%を占めている(図3)。

表6 上位5傷病別一般診療医療費

傷病分類	平成16年度		平成15年度	
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	推計額 (億円)	構成割合 (%)
一般診療医療費				
総数	243 627	100.0	240 931	100.0
循環器系の疾患	54 603	22.4	53 039	22.0
新生物	27 676	11.4	29 724	12.3
尿路性感器系の疾患	19 956	8.2	17 882	7.4
呼吸器系の疾患	19 801	8.1	20 766	8.6
精神及び行動の障害	19 506	8.0	18 281	7.6
その他	102 086	41.9	101 240	42.0
65歳未満				
総数	114 329	100.0	115 124	100.0
循環器系の疾患	14 378	12.6	13 955	12.1
新生物	12 451	10.9	13 384	11.6
呼吸器系の疾患	12 426	10.9	13 540	11.8
精神及び行動の障害	11 948	10.5	11 219	9.7
尿路性感器系の疾患	10 204	8.9	9 543	8.3
その他	52 923	46.3	53 483	46.5
65歳以上				
総数	129 298	100.0	125 807	100.0
循環器系の疾患	40 224	31.1	39 084	31.1
新生物	15 226	11.8	16 340	13.0
筋骨格系及び結合組織の疾患	10 065	7.8	10 023	8.0
尿路性感器系の疾患	9 752	7.5	8 339	6.6
内分泌、栄養及び代謝疾患	9 125	7.1	9 353	7.4
その他	44 908	34.7	42 668	33.9

図3 上位5傷病別一般診療医療費構成割合(%)



注：1) 傷病分類は、「第10回修正国際疾病、障害及び死因分類」による。
2) 「その他」とは、上位5傷病以外の傷病である。